

才 大連市楓町 灘 4 中 4 若 村 景 太郎 服 かそ

000

会社

アッカーバンド節附 パそロッド商級唐軍筆 原建築事 大連市但馬町上 電話六二八七番 與東處第一級主 拉 技術者 努所 梶原勇雄 1-07/6 +>1 ¥20 所作製水並會株 京東 第上·收納斯·美雄·美國 所張出出來

**人**阪 屋 號書后

満書堂書籍 語 日下始科器院

對支銀借欵の成立を

米國政府に對し

電請

用京政府實業部長興紹紀氏から

米上院貸付案を可決

南京政府勝間ラインパーカー氏は一た」で言明した。 | 体験で総合戦争を進めてぬたが、米両の獣少戯惨数に発走して居る | メリカ政府からの戯像数を楽談し | 常原は同音職戦権主法に戦天仇氏策にの獣少戯惨数に発走して居る | メリカ政府からの戯像数を楽談し | 常原は同音職戦権主法に戦天仇氏

蔣氏銀借欵を承諾

間のラインバーカー氏言明

| 国民政府は本日全國に向け國民會
| 本部に総念準備を進めてるたが、

日支電信問題と 賠償問題の交渉 大體結末をつげた 重光代理公使上海で語る

内閣改造運動 ける有志懇談會

閣內、黨內更始一新

新政策の途行を申合

に 「東京二十二日養電通」内臓転流 海口能様の更供を機さし飲みて就でしたので二十三日正年東京會館 その影響も大なるものあり厳行注 型つたので二十三日正年東京會館 その影響も大なるものあり厳行注 型ったので二十三日正年東京會館 その影響も大なるものあり厳行注 なったので二十三日正年東京會館 その影響も大なるものあり厳行注 ないに はずである、係し吸道については 一大十餘名の存志航機會を開き配上 目されてゐる

不平等條約撤廢

今が好機會

支那側、

對外交渉の

陣立を更に擴張す

國民會議準備

主任に戴氏

**会議は来る五月五日南京に招乗さ 代職士會は廿一日衆院監會後歩廊 流間離につき三木氏より網郷を継入る支料の慰慮方針な謙する両氏 『東京廿二日發電通』奥勲の開東 | 森瀬月に無視者を削き席上内開吹** 改造時期方法は 黨本位に基いて 關東代議士會で決定

| 東京二十二日景電通」電話電信 | で今曜省中には郷原殿版通郷の見殿監督については彩だ瀬信、大蔵 込みなく、際に製売の製錬職職なりで二 | あため政府は楽譜者まで揺出を見申して「東京二十二日景電通」電話電信 | で今曜省中には郷原殿返通郷の見

電信電話民營案

提出は見合せか

兩院の通過見込薄に

つ幣原省相代理も其の失っかの事原省相代理もり管時達べて居相代理をり管時達べて居相代理をり管時達べて居相代理を見から出た。

あった、中野氏は安薬内根ないもう一つの配底は中野氏安 一般の関係である、整膜前根性である。整膜前根性である。

野 (株) では (大) で | 摩の入巻へをはずいしい

「大内臓の変生にあり、如砂なる症 「松田、田」

「松田、田」

「松田、田」

に業平太の氏吉武木三 氏剛正野中の鳴共

◆・東東廿二=養電通】三大歌 のがある。作鳥は日間者であるに 数べて廃れ、さころが、これに実 つて見て居るべく三木氏は贈りに 数でて除歌巡離の火平乗を せしく活駆して戻る。それをだま 様ののかちた。それがドゥやら本機化も 中野正郎氏は電師長橋製の参れら 歌があた。それがドゥやら本機化も 中野正郎氏は電師長橋製の参れら 歌があた。それがドゥやら本機化も 中野正郎氏は電師長橋製の参れら 歌があた。それがドゥやら本機化も 中野正郎氏は電師長橋製の参れら 歌か

奉天派牽制策 安福派利用

今の處問題視され

| 整成だが共の時期方法については

の議會開會中に決定せ またフーバー大統領は世界におけ、成かられた感情数の反響源も日本では、 の議會開會中に決定せ を表フーバー大統領は世界におけ、成かられた感情数の反響源も日本では、 の概管信表を通過せるか、あまつ 情観情景成立せるものさらて微楽では の概管信表を通過せるか、あまつ 情観情景成立せるものさらて微楽では の概管信表を通過せるか、あまつ 情観情景成立せるものさらて微楽では の概管信表を通過せるが、なる日二十日アメ ろまで進んであることかので、南一代理の失言問題は二十一日豊富 相京政府賞 こ打電したが、第46 日二十日アメ ろまで進んであることかので、南一代理の失言問題は二十一日豊富 相京政府賞 こ打電したが、第46 日二十日アメ ろまで進んであることかので、南一代理の失言問題は二十一日豊富 相京政府賞 こ打電したが、第46 日二十日アメ ろまで進んであることがあって、南一代理の失言問題は二十一日豊富 相京政府賞 こ打電したが、第46 日本

を関見の信頼に耐いんま 変百般に亘り一大騰進た 変百般に亘り一大騰進た

強暴提出により 心事が期でいた。

衆院活氣づかん 野黨側追撃の目標はの

教目は平線を領げるであらうが、 他により帯海魚を楽するほかこと では、りではないである。

立勝政治に模本的理解を缺く 労働二法案に 飽まで反對中合

委員會では鉄席同盟をなす

民政少壯派の强硬組

直番が便誠にかく歌人を報告さし、 内地院に比し脳かに安静で、離も が表ときか解説の歌人について無も を脱して地道者職入機が終や滅せ 度における機械機・人・統中作年 で六十五種に総つたが、統中作年

政府側の見る解釈 では、大れよりも内地和力品を対すい院の無理に割かつとうるが、神性特のためが確認に内地を対したことが戦から予慮したのだと、地域に大きが戦から予慮したのだと、地域に大きなが戦から予慮したのでは、地域に大きない。 めたかさいふさ、その主なる理由 は石炭酸型腫の観響を興度起動用 でおい、それよりも内地有力石 であるが、それよりも内地有力石

花井氏の論難は

論理の遊戯

臺灣は寳庫

涌洲には大に執着を持つ 太田總督門司で語る

を開始する事さなつだ

部次長離京 山西滿鐵總務

鯖連の途に

を まる 大事院 に 大事院 に

日 西公風(晴) 各地温度 一九 季十一

大連市島比領町本土

林板の

を知ざないさころをみせる であるナア 社長制を復活 三菱合査で副

| 東京世二日教教法|| 三記金数|| | 東京世二日教教法|| 大正六年以本計量の特子にあるが単年を観察な 「横浦特剛士一日製」清飯前地方 「横浦特剛士一日製」清飯前地方 「横浦特剛士一日製」清飯前地方 既佐したので急遽神社するこ

動を行ってゐることを理由に振順 政の低下を影像引下 機能院の輸入練販について内地資 内地當業者の對抗策が見もの 手腕は今から注目されてゐると、歌歌後は驚然社長の椅子に掛ける歌 名古屋で 反對運動 東海產業團體 に連中野して出く「ありや經過し い連中野して出く「ありや經過し がやなくて続ひかれだ」と三峰に がやなくて続ひかれだ」と三峰に

チングはおさうさんの さが適出したもの、た

成明書送出

三種類等社

(松の翠)

独

「名古陸廿一日参覧辿」 東海 正会議所十八及び各重楽画館 三を打つて一丸さらた果像館 は代えこつきがくだんかけてスケートル見せ入場を許される、表ケートル見せ入場を許される、表ケートル見せ入場を許される、表がでもはずんで西崎子の製物ニーヤから理像に及んだもの うな、子守城にふんした薬洋代と黄低かもたずこの條代付きだに、南京盟やシラミが後日つい



氏の一の転分でいばる、王廷郎氏 が南京に駐極し無機氏との他の が南京に駐極してみる、短極器は南 の間を相楽してゐる、短極器は南 でつ、あるか物明しないが終氏か とつ、あるか物明しないが終氏が とつ、あるかが明しないが終氏が

ですら新御職を有和跳を否認し南 か着で現在心遇の順地に在る東氏 か着で現在心遇の順地に在る東氏

ちにして其の實際を見ないで言 ちにして其の實際を見ないで言 な識りを見れないであろう を解して居るが、實際は今後花卉 では述べんでする独理論は政府 でして否定する際にも行かで、さ

労働和合法案と手 りさてるを整蹠せば政府の運輸に りさてるを整蹠せば政府の運輸に りさてるを整蹠せば政府の運輸に 議調停法改正法案

村次官より説明あり各委

本日の衆議院

無内閣の従来の主張ごは相関す以來に會政策を新稔板でもた民 し無内にも反

撫順炭 の内地輸出

際は午前十時より本會職な関き政 豫算總會開會

本會議や委員會 開かれる

職家要項を可決して設合した職の質問態答めつた後それと、際 本日の貴族院 大り就称を助食、米軟出来、小信 エリ就称を助食、米軟出来、小信 エリ就称を助食、米軟出来、小信 本會議は休み 日 中のさころ二十一夜候連 ・ 本佐原馬介氏(機京時報社長) 二 ・ 十二日正午入港の奉天丸にて來 ・ 連連

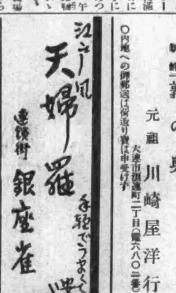
名

二十一日夜軽待され 即き受けた感があっ 全市の人線を一手に

は六時にはすでに場の周圍は見縁 人の山、接票用紙の千板かまだ。 人の山、接票用紙の千板かまだ。 見密がつかで値かに繋がたよりに 約千四五百ださ推定された、 一十八名、 が能や 天产 斯逊 

百七十萬噸を目標

築養の 雅



によつて福々時中かけを試みつゝ で、こととにすの事である。た の一般が他の魅力を描って解釈 の一般が他の魅力を描って解釈。 未然に防ぐ意画で安職派

問題にされて居られ

たさいはれ

市衆七数 一大郎に動する関連を選べ、計使 一大郎に動する関連を選べ、計使 一大郎に動する関連を選べ、計使 一大郎に動する関連を選べ、計使 一大郎は、青田和庭(成第) 一時より鎌葉種會が腕かれるほかに 一時より鎌葉種會が腕かれるほかに 一時より鎌葉種會が腕かれるほかに 一時より鎌葉種會が腕かれるほかに 一時より鎌葉種會が腕かれるほかに 一時より鎌葉種會が腕かれるほかに 一時より鎌葉種音が腕かれるほかに 一時より鎌葉種音が腕かれるほかに 一時より鎌葉種音が腕かれるほかに 一時より鎌葉種音が腕かれるほかに 一時より鎌葉種音が腕かれるほかに 一時より鎌葉種音が腕かれるほかに 一時より鎌葉種音が腕がれるほかに 一時より鎌葉種音が腕がれるほかに 一時より紫葉種音が腕がれるほかに 一時より紫葉種音が腕がれるほかに 一時より紫葉種音が腕がれるほかに 一時より紫葉種音が腕がれるほかに 一時と 前一日間東殿を消散、三浦内移局長の野谷季蔵に撃げられた田中會長、駅出、大内、高田の四季域に二十一の大大内、高田の四季域に二十一の大大田中會長、 開東廠訪問嘆願製鋼所實行委員

店員を御用間に何はせます

時年から五折事業法の各委員會あ年前十時代から著作権法、午後一

非球点では多年の概念で全 無球滅さなすに至った電話に牧野 無球滅さなすに至った電話に牧野 がはまり、新田製 がはまり、新田製 がはまり、新田製 がはまり、新田製 がはまり、新田製

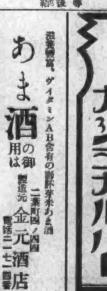
する事になつなのでの林舎では二

『東京二十二日餐電池』政府は数

馬制委員會開會

の二項につき啖願する處あつた 州内地下水の詳細なる再調査 關稅に加へる事

ドンス、羽ニ 栈公荥德 Identification





出進の一次

故松室氏後任 荒井賢太郎氏

般向きな

タイムスイツチ

やうにならうさ云はれてゐるが目 との如く脱價なタイムスイツチが がは容極の利用に概せられる

要なもので味ずった。

費山氏から買ひ上げた要なもので味者の費明さ

トのですがほん たのですがほん たのですがほん ものです、私は は いてがいるま

神明高女の音樂演奏音

堂に滿ちて素晴しい

息本を作らしてゐる

類電所に重要な『送電方式』

滿電の貴山氏が發明

を観察事業駅に動物機能数 かつたしのであるが今回の費出氏は タイムスイッチと云ふのは微水から 特な時間に 電流を切り 直接に影響する 時な時間に 電流を切り 或に駆ぐこ 大ク年電 い事業に 総事する 時な時間に 電流を切り 或に取ぐこ 大ク年電 い事業に 総事する 時な時間に 電流を切り 或に取ぐこ 大ク年電 いず あるが今回の世別らて、八十回を妻子 が あったしのであるが今回の費出来な が かったしのであるが今回の費出来な が

時間を職器しておけば中間低に会 なほ電影響を使用してある影楽館 が出来、共の神楽は多次である。

地路に於いて流形に終

ダンスホ

N

の營業

年前十一時現場へ然付した、遊船大連鬼に径川地頭を残では底に窓場をして、一般を重なるでは、一般を表して、生物を表して、まして、一般を表して、まして、まして、生物を表して、生物を表して、まして、生物を表して、まして、生物を表して、まして、生物を表して、まして、生物を、生物を表して、まして、まして、生物を、生物を、生物を、生物を、生物を、生物を、まして、生物を、ましく、生物を、生物を、まして、生物を、生物を、生物を、まして、まし、生物を、生物を、生物を、生物を、生物を、ましく、生物を、ましく、ましい、まし、ましく、まし、生物を、まし、生物を、まし、ま

大連警察署が專ら調査を進む

現下の大勢に鑑み

へにも許可か

か

だつ

た日

きのふ電氣遊園で



## 渤海にて 山丸堅氷に鎖され 一立往生す

流氷に舵を折られ海中に落して

大連丸、現場に急航

イート歌手は微調響しく何れもフ ・ 一日電地に開催され戦権左の短い ・ 一日電地に開催され戦権左の短い ・ 一日電地に開催され戦権をの短い ・ 一日電地に開催され戦権をの短い ・ 一日電地に開催され戦権をの短い ・ 一日電地に開催され、 一日 登電 の 世界氷上選手權

空巢覘ひ捕はる

夫を硝酸で

誰何した巡査を殴打したが 遂に大格闘のう

虚殺する は大か通信中、呼歌や戦の一支那 地上がある神工態大の強強、背影町二七書 が出発があの職出態大発音が非看 いて出先からの解读、背影町二七書 が出発がある職出態大発音が非看 大庭に **酸し持った機能** 

はの歌唱 本一大型石 では織田郷町の二人総空東端ひの片動れた判別の二人総空東端ひの片動れた判別 指定整要実施本書三扇が終りより指定整要実施本書三扇が終りまり せんましたが同巡査は編手にも属

## フインランドが握る 日本代表選手健闘す

の片手楽れ意味の取消に動し来を にあるので、常展に続てもこの取 にあるので、常展に続てもこの取 概然ダンスォールの家人が大部分 概然ダンスォールの家人が大部分 が、一つでく目下類りに調査を進めても

織田選手

選手が強低格三百回で日 マネキン時代の遊れに乗 生命入二

日本古本間本井本に十二二本

五日間

## ち切れ す

いづこも時ならぬおほ賑はひ 悪まれた日曜風景

だのショールまでが確かしい。無分を締進の上に機がで見い、単月記店、中まとが大業品、正月銀かりの立称人が小ザッスをでがいなった。

る。 右に関し腰半保安主任は語る を対量近に於ける大連のダン カるが最近に於ける大連のダン ス熱は非常なしないさころで が最近に於ける大連のダン

州内軍捷つ ピンポン戦 洲内外對抗の

五割安

哩

9

É

め

一月廿二日より

浪速町



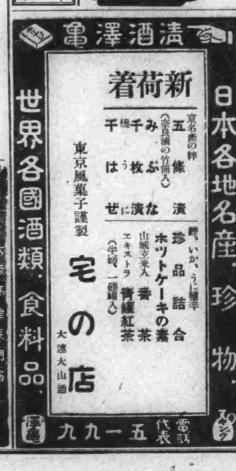
萬二千哩を

島

対魔店の明 ち行 一九二二二電









二十日午後一時より地方事物所會記念三述に息子仰路謎の場合に於て前民代表を探集し除軍職会に於て前民代表を探集し除軍

日 幸校

ラク整一概さ酸品を焼いて午後五 野原酸店こと江口な変食原作業場 野原酸店こと江口な変食原作業場 沿線の不完全

は来る五月二十日中府に於て歌艦本年の全國敞江會議所書記長會職 他」はその實行がな日本酸工会職事業を政策政憲より経過せらむる **微朦朧分會で決勝した「消蔵院費** (で、大阪、京都、名古屋、桜

モーターサイレンで 石

他在

標代の原選な行ふがそ

御慶事を放送す

とが報知さなすこと 関前に於て場竹を打 関本書 の変異権内機関車の汽 **繁宛** 第三十秒間違

するが投ばモーターサイレンを開州陛下の何度事を一般に通知

長春日本領事館の焼跡

年後六時より官民合同の大殿家 を離す會致金一國五十段 の三月十日隆早記念日監はは を確す。 の三月十日隆早記念日監はは を確す。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 できる。 でき B民会同本副舎か奉行 を表し、親王殿下御経 で表し、親王殿下御経 で表し、親王殿下御経

足版の不自由な年

洲

日登然行にて株連らた。ヤマト本版のため二十日來郷らたが、廿一 意志の疎通を 圖つたまでだ 村上鐵道部長談

市内幅町々内含長、區長遊に木村市内幅町な内含長、區長遊に木村中北五條通りに通でる草除郷底駅 甲府の全滿商 議書記長會議 滿洲側の出席者

火事場稼ぎ

四

平

街

爆竹を打揚げ

陸軍記念日の祝賀方法決定 御慶事を知らす 陸軍記念日當日の 祝賀法を協議決定

上食職型に無無磁動の結果だの通 での御際事並に三月十日の陸軍記 に会り地方有志が地方事務所能 での御際事並に三月十日の陸軍記 に会し、一世の後軍記 には、一世の後軍記 には、一世の後 には、一世のもの には、一世のもの には、一世のもの には、一世の には、 には、 には、 には、 には 方法に依り一般市 三月十日午前九時 四十二二月十日午前九時 海東記念日蓮行李 陸軍記念日蓮行李 陸軍記念日蓮行李 0

午前十一時三十分守分列式 統裁守備隊長、模擬終了後帰前 に於て分列式警行

活動寫真會

湖り流た砂金が、一世ごこにご

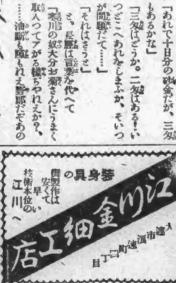
總代改選 ら後艦戦災を おんぱつたが

が、人がが

な影響なんでして さう被争は風をからげてうなっれるほご! 答だし、なまなか大きな大き マがて職を難かして費ふので を項に腰を叩いてみたんです。 がり巻き惚れたさいふ風に、 やがて職を強いたさいふ風に、 や遊覧観の話などを確めいことを 手腕ひをも管ち、もう一ト月の上 ・臓呂に入らないで、鱗のやうに 場だらけに強れてゐるお薬さんに 場だらけに強れてゐるお薬さんに 場とがせて――天然の薬薬風呂や なきかせて――天然の薬薬風呂や 遊びに行ってみないか 首なかっ

·六六七電◆八七圓面連大 









十二日戦闘の名和総天中単位長は二十二日戦闘の名和総天中単位長は二 桑道試合出場者 親祭その他の

在警察局長代理谷本警部から概律 利十時から郷天警職堂に参乗、中 野等階長の本裕か機會に廿一日午 野等階長の本裕か機會に廿一日午 における銀道三欧岩崎全十 日見前の扇氏道に変数に柔道三欧岩崎全十 道院外試合に連腸から左の選手が 區)立木(側)上山(鴨)河村(崎 大久保(澈)大坪(臀)前田 (列車

助戦を徐ぜられた

精師匠の來述を機さる滿螺俱樂部 十一日

ロの二際にゴロくくしてねて、二人の手腕ひなしての一般に言ふんでしたって、一人の手腕が出した。 あの年初の行は、一切がは、いつどとでり込んで平確の見から繋で掘出の後を、いつどとでり込んで平確の見から繋で掘出の後を、いつどとでり込んで平確の見から繋で掘出の後を、いつどとでした金銭を発へ駆び出し続い取りた脚されてものできないやうとでは、一般には、一次には、一般に対して、一人の手腕がないでした。 寒川や体後たちは船宿街の皷屋 ではかく」
「あの年寄の行動を収置に監視する」
「あの年寄の行動を収置に監視する」
「あの年寄の行動を収置に監視する」
「あの年寄の行動を収置に監視する」 いつごこへしまふか、眼の行脈を厳重に監視す

があります そこでは様がい地をさ を背景にして緊張せる多の運動の快味は「血調さー学覧される観世界、発順側の加き氷湖」これ等 が液循、環形態に復興せしむるので 石の様に優かるなどをなって生する體内の資素を減やかに排泄して平角の 瞬の運動を敷活にし、兼陳代謝を迅速にする當然 門屋と若人の近代的感情を結ぶっるに充分なもの るお飲養中に何の手数もなく 妙布』は所被領 塚の特別作用に依つて 内崎機 コリを和い 結果として料理作用を旺んならしめ 彼等に依 と「妙布」の一個を忘れずに御用為下さい 切った肩腰のコリを和らげになるを施して接外 個を旅行鞄に御用意願ひます 波れを快癒す 操いたしますお飲養前の一枚の貼用で加か ますがその旅行物には疲勢回復れとして 動たなる明日の活力を復活いたします 肩腰のコリ 胸を過ぎる が布。御用意と よき運動のために、必らず『妙布』の を除去き らげ 筋乳ののコ ウマチ 今日の疲勞を一種 してお出かけ 雅 輝邊渡鰈舖本 地香一廿町霞區布蘇市京東

理科西蘭傷

(四)

翠刀工 网络 日城 石田 香

が説明な業れて町府の古記長會職院ではむること、なつたので、

ることになる模様である

内にあつた風出場の懲殃の不完全 内にあつた風出場の懲殃の不完全 内にあつた風出場の懲殃の不完全 によるもので撮響は態味も百圓、 酸配三千二百八十圓で整味(市場 は京城の響画火災に一千圓、酸配 は京城の響画火災に一千圓の保験

天中學校長 廿二日朝長 世二日來奉

地方委員聯合會

マー出席者の顔觸れ

ふから開

かれ

富山の賣薬 また没收

ハニユース

鮮人普通學校

愈よ經營困難に陷

の仕事の手解ひたはどめて意想外 の含金率についてなんです。 一般石 ・一般石

を登むた探いする人でした。 を発した物質を水に流し、 を発した物質を水に流し、

沈族性

一年の一般とて二十一日を吟歌した 外流智のため振順に赴き同地兵舎

既職第八回流鐵地方委員職合會は既職第八回流鐵地方委員職合會は

が螺数を服用とて酸縮を起こた事 るため服用者は少大の不安を抱い るため服用者は少大の不安を抱い が繋が上の変数中に繋数の混入してる 

地 一 事 務 所 。 葉 田 公 歌 長 、 葉 田 公 。

松線における教育版別を融終のた。 | 林撃天鵝領事は熊雀のため二十日

焼けた長春日本領事館

自勝本器に引致された

二十十十年後六時頃大張山 一大人の宅へ遊びに行きそ 大人の宅へ遊びに行きそ 大人の宅へ遊びに行きそ で、一本の呼ばに整しかい で、一本の世域ではれば で、一本の世域では、一本の世域には、一は、一本の世域には、一は、一は、一本の世域には、一本の世域には、一本には、一は、一本のは、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は

もので、現在でもこうの探掘されても活動られる程で、自然金の大

新城子の邦人

(安東)中島、高崎、藤平(鶏冠)大原(岩綱) 等和(地方変長) 計(地方地方) 本原(文明子)四井(計(大) (本天) 茶原、尾崎、有川山田 (奉天) 茶原、尾崎、香川(銀灣) 末崎

執務に差支なし

の背威を感じてゐる折機、附近は匪賊の出災艦なるた 免除方の懇願 

**員選舉** 満鐵社員評議

本溪湖神社の火災に

殊勳の三軍曹

製の直接關係的る配給単質を主味 を確認が主であったけれ共需要 が重ながまであったけれ共需要 が重ながまであったけれ共需要 能感動は相當重要融されて居る さする希望もあるので今回の評論 拓務事務官親察 

如く表彰版を提奨した。 門報本溪湖峡社の火災に残骸をあ

右之者昭和六年二月十七日午後 陸軍騎兵軍曹 小田桐喜代吉 上田第六大隊長が表 高島 大助

たもので、現在でもここの探測だれもので、現在でもここの探測が

髪の下のばしアがつ のばしアがって、ま、細工

解びなし信ち、もう一ト月の上 外着は今日水槽へ水を酌ひ込む

門專科内 推導方局但丁四町速渡市建大 院醫富守

弴 雄 (50)